

1. 基本情報

- (1) 国名：スーダン共和国（以下、「スーダン」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：リバーナイル州
- (3) 案件名：リバーナイル州灌漑施設能力強化計画
(The Project of Irrigation Facility Improvement in the River Nile State)
- (4) 計画の要約：本計画は、既存の灌漑ポンプ設備の更新・改修、及び用水路を含む灌漑施設の維持管理機材の供与により、安定的な灌漑用水の供給を図り、同国の農業生産性向上、ひいては農業所得の向上及び雇用創出に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

スーダンにおいては、2019 年の政変により 30 年続いた独裁体制が崩壊し、現在は暫定政府により 2022 年の選挙実施に向けた民政移管のプロセスが進められているところである。国際社会も同国の状況を注視しており、スーダン支援にかかる支援国会合を開催するなど、スーダンの新たな国造りを支援する姿勢を見せている。我が国はこれまでスーダンに対する支援を継続的に実施してきており、スーダンの人々から強い支持を得るとともに、アフリカにおける平和と安定に対する支援として国際社会からも高い評価を得ている。ついで、今後も経済協力を通じて同国の新たな国作りを後押ししていくことが重要である。

- (2) 当該国における農業セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置づけ

スーダン共和国（以下、「スーダン」という。）において農業は GDP の約 30%（世界銀行、2019 年）、輸出の約 50%（スーダン中央銀行、2017 年）、雇用人口の約 40%（ILO、2019 年）を抱える基幹産業である。しかし、主食である小麦を含む食料品や石油等を輸入に依存する中、2012 年の南スーダン独立による石油収入喪失により貿易赤字の進展や極度の外貨不足とインフレが見られ、人口の約 4 分の 1 が栄養不足に直面している（総合的食料安全保障レベル分類、2019 年）。2018 年 12 月には、パンの値上げを契機とした政権批判が全土に広がり、2019 年 4 月に 30 年間に及ぶバシール独裁政権の終焉、8 月に暫定政権に移行した。暫定移行政権は、民主化やマクロ経済改革に加え、若者の雇用機会の創出や農業を中心とする産業多角化を通じた経済復興と成長を重視しており、2019 年以降定期開催されているドナー会合でも優先分野として示されている。

リバーナイル州灌漑施設能力強化計画（以下、「本計画」という。）の対象地域は、年間降雨量 56mm 以下の乾燥地帯（スーダン全土の平均年間降雨量は 250mm（世界銀行、2012 年））であり、ナイル川に沿った南北に長い地理的条件を生かし、小麦や果樹、野菜等の多様な灌漑農業が見られる。また同州は、首都ハルツームと輸出拠点の要港ポートスーダンとの中間地点に位置し、国内・海外市場の双方を目指す好立地にある。このように、同州はスーダンの食料安全保障を支え、農業を中心とした産業多角化へのポテンシャルを有する一方、灌漑施設の老朽化が進み、施設機能が低下していることから、用水不足により栽培面積が限定されるとともに単収が低迷するなど、営農活動への支障が大きな課題となっ

ている。本計画を通した灌漑施設の整備により必要計画量の灌漑用水を確保することで、農業生産性の向上等が期待される。

我が国の対スーダン国別開発協力方針（2018 年 5 月）では、平和の定着及び経済発展支援を基本方針とし、重点分野「農業・産業多角化支援」の協力プログラムで農業セクターを中心とした産業多角化や貿易投資促進の支援を掲げており、本計画はこれら方針に合致する。JICA では、国別分析ペーパー（2014 年 5 月）において「農業・産業多角化支援」を重点分野として位置づけており、同州における無償資金協力や技術協力を通じた協力実績を蓄積している他、営農活動や灌漑施設維持管理における技術協力を実施予定。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容

【機材】既存の灌漑ポンプ更新・改修及び附帯機材、ポンプ場及び用水路を含む灌漑施設の維持管理のための機材（バックホウ、泥上掘削機、ホイールクレーン等）

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：詳細は協力準備調査にて確認。

ウ) 調達・施工方法：現地調達の可能性を含め、維持管理体制・能力を踏まえた調達国及び調達方法を検討する。

② 期待される開発効果

安定的な灌漑用水の供給、(ポンプの計画取水量に対する実取水量の割合の増加：50%→100%)により、作物栽培面積が増加し、農業生産性の向上及び農業生産量の増加への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：連邦農業自然資源省（Federal Ministry of Agriculture and Natural Resources）

④ 他機関との連携・役割分担：特になし

⑤ 運営／維持管理体制：機材の維持管理は、連邦農業自然資源省、リバーナイル州生産経済資源省（Ministry of Production and Economic Resources、River Nile State）及び州営灌漑スキーム毎の水利組合が実施予定。詳細は協力準備調査にて確認。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 他の援助機関の対応：世界銀行は農業付加価値化における調査や政策提言を実施中。アフリカ開発銀行は南コルドファン州等で畜産・農業振興支援、FAO は東部におけるバッタ防除を含む緊急人道支援、IFAD は畜産・農業市場開発への支援を実施中。本計画の対象地域に他援助機関による協力の重複はない。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

- スーダン国無償資金協力「食料生産基盤整備計画」では、同州 2 地区での灌漑ポンプ設備等整備を行った結果、安定的な灌漑用水の供給や収入向上による水利費徴収率の向上が確認されている。また、同計画の対象地域において実施した技術協力では、灌漑関連技術向上や水利組合の運営指導を通じて灌漑施設の持続的な維持管理体制を支援し、効率的な水利用での営農改善・栽培技術普及を通じ、生産性向上に貢献している。本

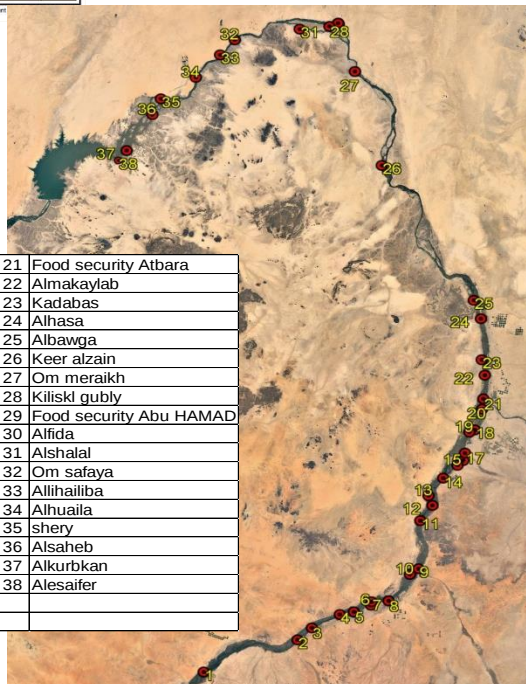
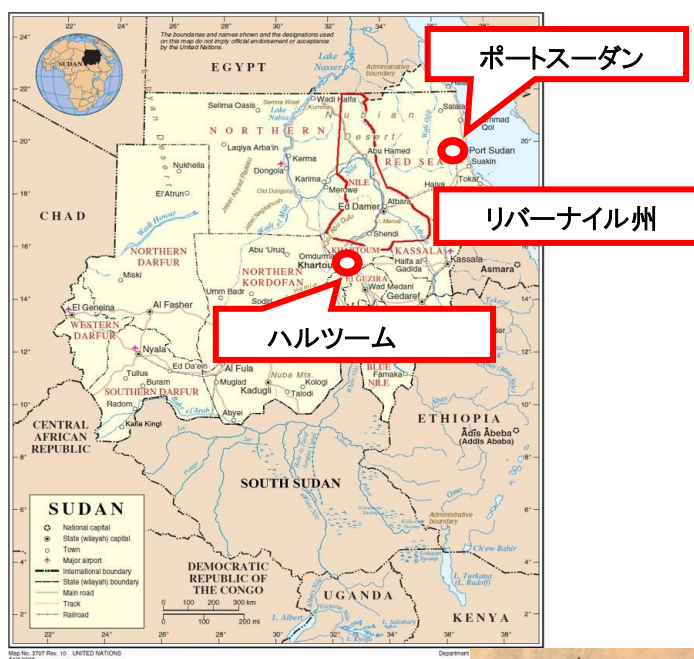
計画においても、実施予定の技術協力プロジェクトと連携し、灌漑施設と営農活動の一体的な改善を通じて、農業生産性の向上を目指す。

以 上

[別添資料] 地図

[別添資料] 写真

〔別添資料〕地図



1 Medeni	21 Food security Atbara
2 Alshahed	22 Almakaylab
3 Gandato	23 Kadabas
4 Almatama south	24 Alhasa
5 Alsayal	25 Albawga
6 Almesectab	26 Keer alzain
7 Alkemer tayba	27 Om meraikh
8 Kaboshia	28 Kiliskl gubly
9 Albagrawia	29 Food security Abu HAMAD
10 Kely aldawab	30 Alfida
11 Alkitiab	31 Alshalal
12 Aliab	32 Om safaya
13 Musalamab	33 Allihailiba
14 Alhawia	34 Alhuaila
15 Zeidab	35 shery
16 Mukabrab	36 Alsaheb
17 Almanaseer ahgadede	37 Alkurbkan
18 Food security eidamer	38 Alesaifer
19 Sola	
20 Alfadlab	

リバーナイル州の州営灌漑スキーム配置図

出典：リバーナイル州提供データ及び Google Map

〔別添資料〕写真

ナイル川からの取水ポンプ設備①



ナイル川からの取水ポンプ設備②

